

8月15日を考える会 2012年の集い

## 「被爆・被曝」

～ヒロシマ・ナガサキそしてフクシマ～  
平和といのちを考える

今年、平和思想を貫いた与謝野晶子没後70年になります。また、明治の民衆歌人として有名な石川啄木の100年忌に当たります。そして、沖繩復帰40年。

目まぐるしく変化する日常性の中で、昨年3月11日以後、人類史上まれに見る大災害に遭遇しました。あれから1年5カ月余を経過したにもかかわらず、復旧もままならず、人びとは苦悩の日々を過ごしています。

今回の災害が自然災害だけなら数年後には、復興・再生は可能ですが、同時に発生した原発事故は、放射能の恐るべき異常な事態を引き起こし、20年前のチェルノブイリの再現と言わざるを得ません。それと同時に私たちは、67年前、広島・長崎に投下された原爆を想起します。一瞬にして多くの市民がかけがえのない命を失いました。

再び、あのような悲劇を繰り返してはなりません。ところが政治の主体である政府は、原発「再稼働」を正当化し、大飯原発の再稼働に踏み切りました。私たちは、国民の一人としてこんなことを許していいのでしょうか。

そこで、今年の8月15日を考える集いは、「被爆・被曝～ヒロシマ・ナガサキそしてフクシマ」をテーマにして「戦争と平和」という課題にアプローチしたいと考えています。

是非、みなさま方のご参集を願い、「脱原発」「戦時体験」など幅広い視点で、語りあいたいと思っています。

●呼びかけ人・飯田耀子・宇佐美ミサ子・鍵和田ユミ子・金子あそみ・田中利恵子・檜山智子

小田原市・小田原市教育委員会後援

8月15日(水) 13:00～16:00

伊勢治書店ギャラリー新九郎 (0465-21-3386)

資料代:300円(当日受付にて・申込不要)

13:00～16:00 写真展  
(ヒロシマ/ナガサキ/フクシマ)

13:30～14:00 市長挨拶・弦楽四重奏

14:00～15:30 講演:上原公子氏(紹介裏面)

「被曝から人間復活の未来のために」

15:30～16:00 自由トーク:講師と共に

みなさまのご参集をお待ちしております

主催 8月15日を考える会

お問い合わせ先 小田原市城山4-1-11  
T: 0465-23-7871 F: 0465-23-7872

### 講師紹介



### 上原 公子 氏

#### 【プロフィール】

1949年5月3日(憲法記念日)、宮崎県生まれ。

1976年法政大学大学院修士課程中退。

1989年東京・生活者ネットワーク代表。

1991年東京都国立市市会議員。

1993年水源開発問題全国連絡会事務局。

1996年国立市景観権裁判原告団幹事。

以上を経て

1999年5月、国立市長に立候補し当選、

以降、2期8年間市長を務め、

2007年4月に退任。

現在

- ・「脱原発をめざす首長会議」事務局長
- ・「自治体議員政策情報センター」センター長
- ・「教育・子育て9条の会」呼び掛け人
- ・「景観と住環境を考える全国ネットワーク」副代表

#### 【著書共著】

『〈環境と開発〉の教育学』(同時代社)

『どうなっているの? 東京の水』(北斗出版)

『国民保護計画が発動される日』(自治体研究社)

『市民が広げる議会公開』(現代人文社)

『無防備平和 市民自治で9条を生かす』(高文社)

『しなやかな闘い』(樹心社)

『国立景観訴訟-自治が裁かれる』(公人の友社)